

平成25年2月7日

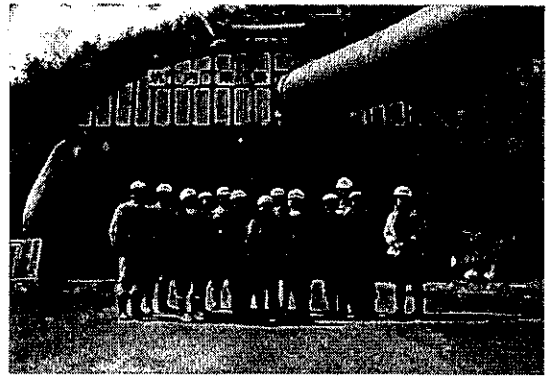
写

国土交通大臣  
太田 昭宏 様

三陸沿岸道路の整備に関する  
要 望 書



気仙沼湾横断橋イメージ図



整備の進む志津川トンネル(仮)  
(リアス・ハイウェイ女性の集い委員会工事見学)

気 仙 沼 市 ・ 南 三 陸 町

気仙沼・本吉地方三陸縦貫自動車道整備促進連絡協議会

気仙沼・本吉地方リアス・ハイウェイ女性の集い委員会

# 要 望 書

平成23年3月11日発生の東日本大震災は、三陸沿岸地域に未曾有の被害をもたらし、多くの人命と財産を一瞬のうちに奪い去るとともに、産業・経済基盤に壊滅的な打撃を与えました。

震災から1年10か月が経過し、被害の爪痕が今なお色濃く残される中、被災地では、悲しみを乗り越え、全力で復旧・復興へ邁進しています。

このような中、震災復興のリーディングプロジェクトとして、三陸沿岸道路の迅速な全線事業化が図られ、さらには新規事業化後1年を待たずして即年着工されたことは、復興への確かな道標として、被災地に希望と勇気を与えてくれました。その取り組みにあらためて感謝とお礼を申し上げます。

三陸沿岸地域は、これまで、高速交通網整備の立ち後れが、産業や観光などの発展の阻害要因となってきました。復興にあたって、産業の再生と雇用の確保、住居の再建など喫緊の課題が山積する中、三陸沿岸道路の供用による物流の効率化や交流圏域の拡大、救急医療や防災機能の拡充等の整備効果は、復興を加速させる最も大きな力であり、早期供用は必要不可欠であります。

私たちは、三陸沿岸道路を最大限に活用し、安全・安心で豊かに暮らし続けることの出来る郷土を目指し必要な取り組みを進めていく所存です。

このようなことから、高速交通網の地域間格差を是正し、三陸沿岸地域の早期復興を図るため、次の事項について強く要望いたします。

## 記

### 1. 「復興道路 三陸沿岸道路」の整備予算の確保

地域にとって必要不可欠な三陸沿岸道路の整備を着実に推進するため、復興道路等の関係予算を十分確保し、優先的かつ継続的にその財源を投入すること。

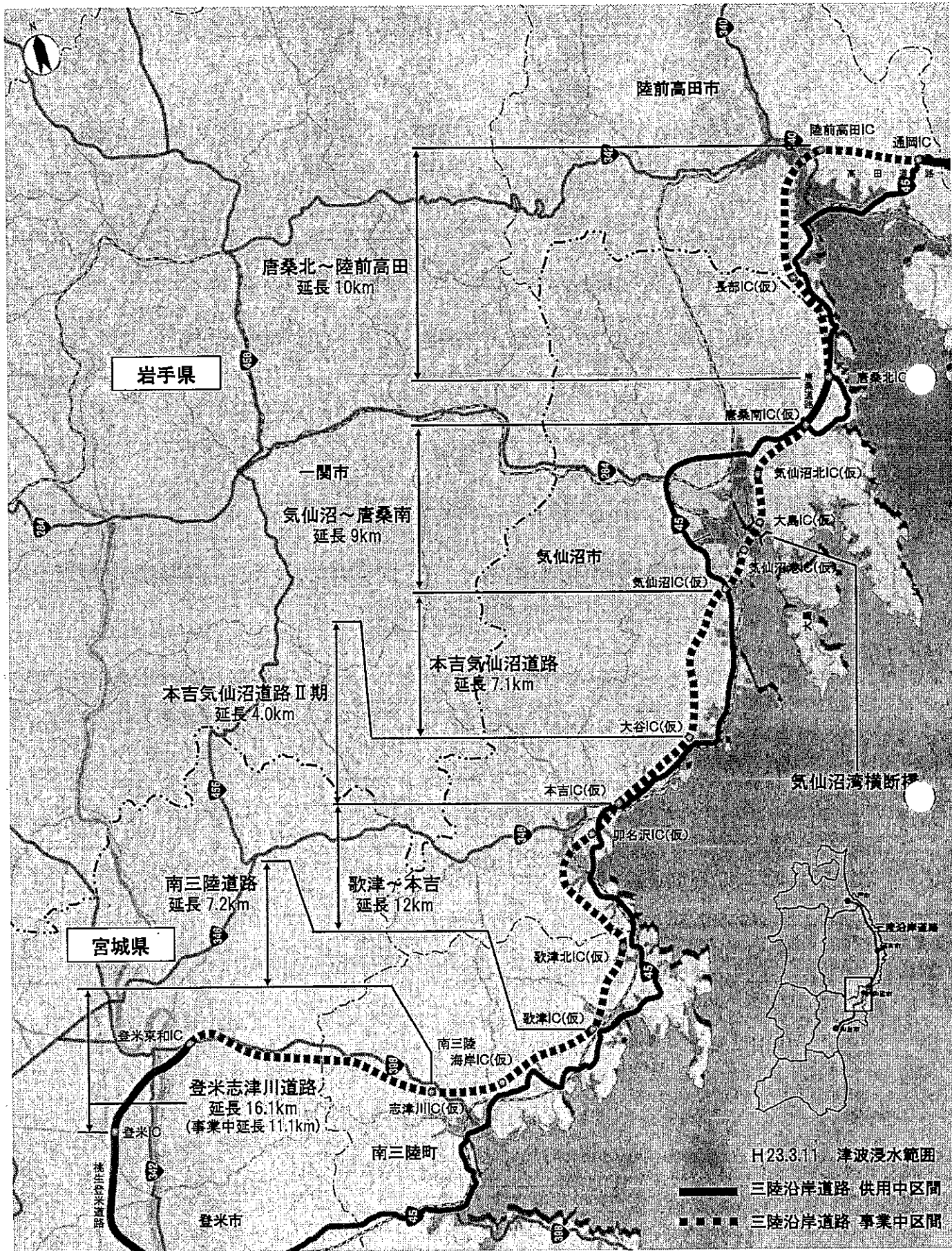
## 2. 「復興道路 三陸沿岸道路」の整備推進

- (1) 工事の進んでいる登米志津川道路及び本吉気仙沼道路の一日も早い供用を図ること。
- (2) 調査の進んでいる南三陸道路及び本吉気仙沼道路Ⅱ期の用地補償及び工事の推進を図ること。
- (3) 平成23年度新規事業化区間の歌津～本吉、気仙沼～唐桑南及び唐桑北～陸前高田の整備推進を図ること。
- (4) 気仙沼～唐桑南に計画された気仙沼湾横断橋の整備については、地域のニーズや意見に留意しながら、復興のシンボルとして整備推進を図ること。

## 3. 「復興道路 三陸沿岸道路」の役割・機能強化

- (1) 三陸沿岸地域の復興をリードする事業として、地域の復興まちづくり支援に配慮した整備推進を図ること。
- (2) 災害時に三陸沿岸道路が果たした避難や救援等の防災機能の重要性を踏まえ、地域の防災計画と調整・連携し、防災機能の更なる強化を図ること。

# 気仙沼・本吉地方 三陸沿岸道路 整備状況図



# 復興道路 命の道

## 三陸沿岸道路の早期全線供用を!!

平成23年3月11日の東日本大震災。国道45号は大きな被害を受けましたが、三陸道の供用区間では迂回路・避難路として有効に機能しました。



### 人命救助がもっと 早かったはず…

気仙沼市消防団団長 武山文英さん

大震災後、私たち消防関係者は、不眠不休で人命救助活動にあたりました。

沿岸域一帯の道路は瓦礫の山が行く手を阻んだため活動は困難を極め、また、全国から支援をいただいた食料や燃料、緊急消防援助隊等の救助機関も到着までに多くの時間を要しました。

三陸道が開通していれば、向かえた現場・救えた命が多くあったと確信しています。



### 三陸道があったので…

気仙沼市唐桑町  
小原木地区防犯協会  
会長 吉田三喜男さん

大震災の3ヶ月前に供用が開始された「唐桑道路」によって、唐桑地区は陸の孤島にならずに済みました。

震災直後は唯一の国道がガレキによって寸断されましたが、「唐桑道路」によって住民が往来でき、避難所へも避難できました。また、物資の搬入も確保でき、ライフラインの復旧も思いのほか早かったと思います。

## あの日、三陸道が繋がっていたら…

### 救援物資がもっと 早く届いたはず…

気仙沼市本吉町  
大谷南区振興会会長 大内守雄さん

震災直後、仙台在住の妹が私の消息を確認に来てくれたそうですが、国道が寸断されていたため大谷地区に入れず、会うことはできませんでした。

震災後は、避難所の運営に当たりました。震災直後は外との連絡がとれず、救援物資も届きませんでしたが、山間部の振興会から協力頂きました。

また、通院する避難者を、乗り合いで気仙沼の病院まで送迎も行いましたが、通行できる道路が山間部の農道しか無く、時間的にも、道路状況的にも、大変苦勞しました。

### 迅速な救護が できたはず…

公立志津川病院看護部長 星愛子さん

大震災では、大勢の尊い命が犠牲になりました。国道に架かる橋は南北共に崩落、内陸に繋がる国道398号は途中瓦礫と海水に阻まれ、町そのものが孤立しました。

三陸道が完成していても、被災当日の救助活動や物資の搬入には限界があったと思いますが、避難所で発生した急患の搬送や医療支援チームの移動、物資の搬入等に迅速対応が可能だったと考えています。

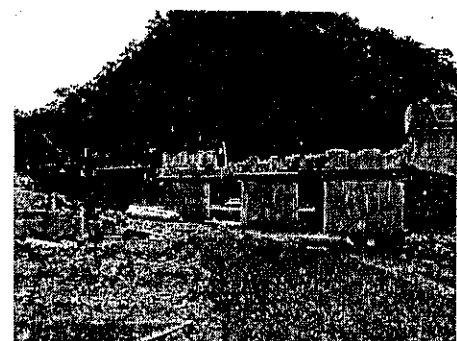
▼小泉大橋



▼国道45号(気仙沼・最知地区)



▼歌津大橋







気仙沼・本吉地方リアス・  
ハイウェイ女性の集い委員会  
委員長 齋藤幸枝さん

黄色のネックチーフをシンボルに、気仙沼・本吉地方の女性の仲間と一致団結して三陸道の早期整備をPRしてきました。

これまで三陸道の着工式などにご案内いただき、どんどん三陸道建設工事の槌音が近づいてきているのを実感しています。

今の希望は、三陸道が1年でも早く全線開通し、気仙沼から三陸道を利用して沿岸の観光地巡りでもしてみたいですね。

気仙沼・本吉地方  
リアス・ハイウェイ女性の集い委員会

私たちが三陸道の早期全線供用を心から願っています！



◀ 志津川トンネル  
現場視察

リアス・ハイウェイ  
早期実現宮古大会参加 ▶



気仙沼・本吉地方  
リアス・ハイウェイ女性の集い委員会

私たちが三陸道の早期全線供用を心から願っています！

16年連続(H9~H24)日本一の水揚げを誇る

気仙沼の生鮮かつお  
三陸沿岸道路の全線開通で

気仙沼出発 ~18:00	水揚げ出荷	関東地方へ輸送 約8時間	築地市場着 2:00~4:00
現況			道路条件による遅れなど
開通後	水揚げ出荷	関東地方へ輸送 約6時間	道路条件による遅れなど
気仙沼出発 ~20:00			築地市場着 2:00~4:00

輸送時間短縮、販路拡大!

海亀甲運輸  
代表取締役専務 渡邊耕司さん



運送業という職業柄、高速道路を多く利用しています。

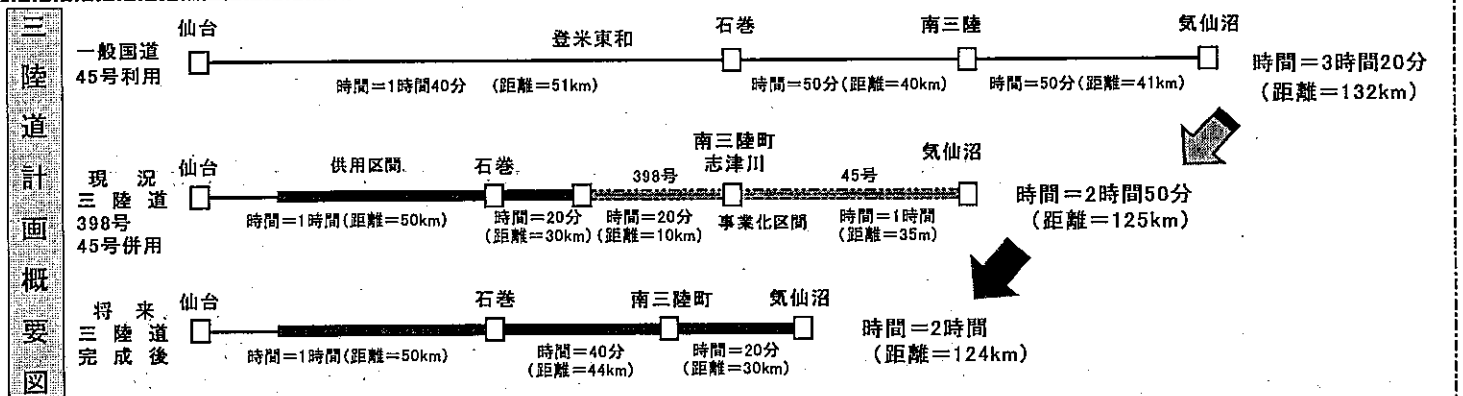
港町気仙沼ということもあり、生鮮品や加工食品を多く取り扱っています。

気仙沼は生鮮かつお水揚げ日本一です。

生鮮かつおの運送は1分1秒の争いになりますが、現在は1Cまで時間がかかります。

必然的に一般道の走行距離も長くなるため、歩行者や一般のドライバーはもとより、自社の運送ドライバーへの負担も心配です。

三陸道が全線開通し、新鮮な食材をより早く「安全に」お届けできることを望みます。



気仙沼・本吉地方三陸縦貫自動車道整備促進連絡協議会

事務局：気仙沼市建設部三陸道・大島架橋・唐桑最短道・本吉バイパス整備促進課内  
TEL: 0226-22-6600 内線567